

『製造業向けビジネスモデル研究会』開催概要

これからのものづくり産業に求められる安全技術とは？

～メーカーもサプライヤーも、もう他人事ではいられない～

自動車や家電製品を始めとして、製品が高機能化、複雑化していく中で、従来以上に「安全性」や「信頼性」が求められています。「安全性」や「信頼性」に関する国際規格の整備も年々進んでおり、製造側にもそれらを意識したものづくりの重要性が増しています。

一方、高機能化、複雑化は、個々の製品の内部のみならず、インターネットやスマホなど、外部と繋がることで加速しています。さらに、外部とつながることで、製品の不具合や障害だけでなく、セキュリティーの脅威についても適切に対応しないと「安全性」や「信頼性」を確保できない状況になってきています。

以上のような背景を踏まえ、これからのものづくりに求められる「安全性」や「信頼性」について、国際規格への対応及びクラウドの活用の2つの視点から考える研究会を開催します。

<開催概要>

主催：CCBNET. 中国経済産業局

共催：地方独立行政法人山口県産業技術センター

日時：平成24年11月28日（水）13：30～17：00

場所：山口県産業技術センター 多目的ホール（〒755-0195 山口県宇部市あすとぴあ4-1-1）

定員：80名（定員になり次第締め切ります）

参加費：無料

※CCBNET.：ちゅうごく地域クラウドビジネス推進ネットワーク(<http://ccbnnet.jp/>)

1 国際規格から考える製品の安全性について

～機能安全の考え方と高信頼なものづくり～

広島市立大学大学院情報科学研究科システム工学専攻 教授 大場 充氏

最近良く耳にする「機能安全」という言葉ですが、誰かに聞かれたときにきちんと伝えられるような情報整理はできていますか？

「機能安全」の概念について、今一度わかりやすく解説していただくとともに、国内外での取り組み状況をご紹介いただき、これからのものづくりに活かしていくべきエッセンスとして考え方をまとめます。

2 クラウド時代のものづくりにおける安全性について

～セーフティーとセキュリティの両立のために～

独立行政法人産業技術総合研究所組込みシステム技術連携研究体 田口 研治氏

これまで製造業においては、クラウドコンピューティングは縁遠いものと思われてきました。ですが、クラウド化の波は早く強く押し寄せており、ものづくりの在り方さえも変えようとしています。

製品がネットやスマホと「繋がる」ことで外に開かれていくこれからは、メーカーとサプライヤーがより連携を密にし、セーフティーとセキュリティを両輪として意識したものづくりが求められます。

例えば、クラウド上で組込みシステムに関する開発ツールを SaaS として提供した場合、クラウド上のセキュリティの問題と、機能安全規格におけるツールの資格認定という安全性の問題の両方を満たす必要があります。このようなシステムの安全性とセキュリティの同時認証のニーズは非常に高まっており、本講演においては、このような問題を解決するための方法論について解説をします。

参加申込

FAX 082-224-5765
E-mail cgk-it@meti.go.jp

企業名		
参加者	部 署 氏 名	部 署 氏 名
連絡先	部 署 氏 名 電話番号 メールアドレス	
一言PR		

<お問い合わせ>

経済産業省 中国経済産業局 地域経済部 参事官室（電子・情報産業担当） 担当：和崎 裕美
TEL：082-224-5630 （広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎2号館3階）

※ご登録いただきました方には、セミナーなどに関する情報メールを配信することがあります。

※ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、弊局関連の活動の範囲内でのみ利用します。

◆会場案内図

